

とちぶん会報

No.54

2018年12月15日

栃木県文芸家協会 発行人 小林 守城
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町16-18 三上博史 方
〒321-0226 TEL090-9318-2492

朝明第7号が発刊

朝明第7号(発行日:2019年1月1日)が、当初の予定どおり無事刊行されました。会員各位には同封したとおり2冊送付します。これからの年末年始、会員がペンを執った作品の数々にゆっくり目を通していただきたいと思います。

※ 追加注文のご案内

同封した合評会・懇親会の出欠返信ハガキ、事務局へのeメール(アドレス:hmikami1@outlook.jp =エフミカミイ@アウトック.ジェイピー-)・電話(090-9318-2492)でご注文ください。在庫がある限り承ります。

朝明第7号への意見・感想について

朝明第7号へのご意見・ご感想をお寄せください。同封した合評会・懇親会の出欠返信ハガキに書き添えていただくか、事務局へのeメール(アドレス:hmikami1@outlook.jp =エフミカミイ@アウトック.ジェイピー-)でも構いません。

いただいたご意見等は、整理して1月20日(日)に開催する合評会において資料配付する予定です。

朝明第7号合評会・新春懇親会を開催

朝明第7号合評会・新春懇親会を例年と同じように、以下のとおり開催することとなりました。会員の積極的な参加をお願いして懇親を深めたいと思います。

○ 日 時 平成31年1月20日(日) 午後1時30分～2時40分

・合評会／1時30分～2時40分 ・新春懇親会／2時45分～4時45分

○ 会 場 ホテル丸治[宇都宮市泉町1-22/TEL 028-621-2211]

※ 今回の新春懇親会は、各部門・各会員の交流を更に深めるために、座席を当日のくじ引きにて決めます。よろしくご承知おきください。

※ 同封した出欠の返信ハガキを1月11日(金)までに事務局あて必ず郵送してください。

敬意と感謝のことば

前号で紹介いたしました、当協会のホームページ開設のために、高杉副会長から多額の寄金の申し入れがあり、11月8日に全額を受理いたしました。これに対して、小林会長から、高杉副会長への敬意と感謝の言葉がありました。ホームページ開設に係る経緯等も記されていますので、ご両人の承諾を得てここに掲載いたします。

高杉 治憲副会長 様

会長 小林 守城

この度は、わが文芸家協会のネット情報化ために、多額の資金のご寄付をたまわり、誠にありがとうございました。

亡くなられた松本前会長との会話の中で、歴史と伝統のあるわが栃木県文芸家協会の今日的な展開と

発展のためには、どうしてもネット上での情報発信と作品発表が欠かせないということだったとお聞きしました。

その早急な実現のために、自ら意を決して下さったものと思います。高杉副会長の、当文芸家協会に対する深い思いに、改めて敬意と感謝を申し上げます。とても見習えるようなことではありませんが、その思いに少しでも応えられるように、努めていかねばならないと思います。本当にありがとうございます。

会員の皆様にもその旨周知徹底していきたいと思います。

短歌部門の滝口節子さんが優良歌集賞を受賞

短歌部門の滝口節子さんの歌集「春落葉」が、日本歌人クラブ北関東ブロック(茨城・栃木・群馬)の優良歌集賞に選ばれました。

この賞は、日本歌人クラブが、毎年、前年度に出版された歌集の中から優れたものを選び表彰するものです。選考は、まず北海道から九州までの12ブロックの各県代表幹事が、県内の優れた歌集を持ち寄ってブロック内での推薦歌集を決めます。それらを中央幹事会に報告し、同幹事会が賞に相応しいと認めたものについて、ブロック毎に表彰するものです。各県、各ブロック、中央と三段階の審査を経ての重みのある賞です。

今回の滝口さんの受賞を称え、なお一層のご活躍を期待したいと思います。

第3回編集会議を開催、朝明第7号は校正・印刷へ

朝明第7号発行に係る第3回編集会議は、11月8日(木)ホテル丸治にて開催されました。

表紙デザインは宮原隆岳氏の漆器作品のうち、螺鈿「パーティーバッグ」の写真に決まりました。

印刷会社から届いた初校ゲラを各部門の編集委員に配付し、各編集委員が初校を担当し、二校は編集委員長が行って責了となることが了承されました。

『創作への志』 会員通信 No.13 随筆部門 国井 和子

「ことば」は不思議な大きい力を持っています。人は言葉によって考えるわけですが、自分の気付き、知らせたいことなどを、どのような言葉を使って表現するか、それが文を書く者の苦勞する点だと思えます。

『朝明』を通して皆様方それぞれの人生を知ることは、非常に大きい感動があります。表から見えない人生の真実の姿を見つけ出して、それを読者に知らせられるような作者になりたいと思うのです。

§ 寄贈書籍の紹介 §

- 「浪漫派」2018年11月号 No.259/発行所・浪漫派短歌会[発行所からの寄贈]
- 「ある女(ひと)の生涯—二宮鉸の軌跡」上巻・下巻 安西悠子著/発行・大日本報徳社/発行日・2018年9月10日[著者からの寄贈]
 - ・二宮尊徳の伴二宮尊行の妻鉸の生涯と、さらに尊徳の家族像等を描いた大作である。上巻 236 ページ、下巻 273 ページ。
- 「真説・松尾芭蕉」阿部 功著/発行・随想社/発行日・2018年11月27日[著者からの寄贈]
 - ・俳句専門誌『雁』に13年間連載していたものを上梓した。神格化されていない生身の芭蕉の姿が読み解かれている。255 ページ。

* ∞ * 事務局通信 * ∞ *

前号で会員の自著出版、文芸関係賞の受賞のトピック募集をお願いしましたが、早速反応がありました。短歌の滝口さん、本当におめでとうございます。次に誰の吉報が届くか、お待ちしています。ホームページの開設準備作業が進んでいます。今年度中に作業を完了させ、着実な広報強化を図りたいと思っています。(三上)